

京都高島屋と滋賀大学が初の共同研究を開始。

「インバウンド」に関する調査研究を行います。

京都高島屋(京都市下京区)と国立大学法人滋賀大学は、「インバウンド」に関する共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。京都高島屋は、2015年から、中国を中心とした海外からのお客様を対象としたアンケート調査や売場改善提案において、滋賀大学と連携した取り組みを行ってきました。

今回の共同研究契約は、海外からのお客様の多様化する観光・消費行動やニーズを滋賀大学のデータ収集力や分析力で分析、京都高島屋の施策に反映することで、ストレスフリーな環境整備、魅力的な品揃え、地域と連携したサービスの拡充などにつなげようとするものです。共同研究の成果を活用し、京都高島屋でのお買い物をこれまで以上に楽しんでいただけるよう、魅力あふれる店舗づくりの深耕を実現したいと考えています。

■研究題目

京都地区及び高島屋京都店におけるインバウンドマーケティング対策

■研究期間

2016年6月15日～2017年2月28日

■研究内容

学生によるインバウンド施策実行に向けた調査・提案及び施策実施、検証。

訪日観光客の訪日前の行動パターン調査、京都高島屋の店頭での行動パターン調査などを実施し、2017年2月に京都高島屋において学生による研究成果の発表が行われる予定です。また、調査に基づく施策は、京都高島屋の環境整備、販売促進策等において、随時実行していく予定です。

■研究体制

滋賀大学社会連携研究センター及び経済学部教員4名、大学院経済学研究科、経済学部学生約30名

ご参考

【京都高島屋の免税売上】

2015年度 売上げ前年比 約+140% 件数同 約+150%

国別の免税売上は、中国が最も高く、約60%を占めています。

以上